四日日刊
磐城時報
福島縣石城郡平町紺屋町十五
編輯兼發行人　岡田弘氏
印刷
福島縣石城郡平町紺屋町十五
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所　磐城時報社
▲一部金貳錢一ヶ月金拾錢
廣告料一行十字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

近く竣工する豐間漁港
指定權獲得の運動
鈴木村長縣議と出縣

豐間漁港工事は工費三十萬圓で三ヶ年間繼續事業として工事中の處年度内には竣工する筈であるが、更に漁港の完璧を期するため農林省の中小漁港指定權一縣一港を獲得すべく運動を行ふ事となり鈴木村長、遠藤漁業組合長は四日野崎、井上兩縣議と出縣陳情した。

四倉船溜場
盛大な入船式

四倉漁港では昨報の如く四日午前十時から船溜場の入船式を擧行したが、鈴木助次氏所有船山田丸を先頭に鈴木賢二氏の金比羅丸、坂本角網事務所の日の出丸、高木八藏氏の幸運丸、新妻春次氏の善寶寺丸、菅波末吉氏の第二稻荷丸の順で夫々裝飾した船体が溜場に入つたが附近は見物人で人山を築いた。

武道大會
平署選手

來る十二日郡山市武德殿に開かれる縣下四大警察署武道大會に平署から左の如く出席する。

△劍道　鈴木師範、高松四段、遠藤三段、大谷、室井、渡部佐藤各二段、長谷川、高子各初段

△柔道　草刈、熊田各三段、五十嵐、庄司、吉田、菅家、三瓶各初段

天候不順に祟られ
大減收の四倉驛

四倉驛七月分取扱成績左の如し

貨物發送八千六百四十四噸、到着一萬一千三百四十八噸、賃金二萬七千五百六圓九十五錢、乘車一萬二千三百二十二人、降車一萬二千三百八十二人、賃金二千九百五十三圓八十六錢、手荷物發送二百六十九個、手荷物到着四百五十五個、小荷物發送三百五十三個到着一千二百三十二個、手小荷物發送賃金百三十五圓三十三錢、

昨年七月分と比して本年は天候不順の爲乘車人員は二千六人、降車人員は一千四百八十六人計三千四百九十二人の減、又收入は七百八圓二十錢の減收である

野球協贊會
決算報告

縣下中等學校野球大會協贊會では會長青沼平町長、主催者小檜山磐中校長の名で左の如く決算を報告した。

一金壹千四百拾參圓也　寄附總額
一金壹千參百九拾九圓八拾六錢也
支出金内譯左の通り
金三九八、四〇　自動車費
金一六八、〇〇　記念メタル費
金一八五、〇〇　審判員補助費
金一六四、八一　球場費（但三球場）
金九四、三〇　辨當費
金八五、六三　磐中、平商補助費
金三〇、八〇　招待費
金五三、五八　印刷通信費
金二二、六六　會議費
金五〇、三六　雜費
差引殘金拾參圓拾四錢也
金六圓五十七錢　磐中野球部へ寄贈
金六圓五拾七錢　平商業野球部へ寄贈
差引殘ナシ

▲町村事務指導

四倉町久之濱、木戸、廣野、大野、大久、大浦、草野、神谷の二町七ヶ村町村事務指導會は十三日午前九時から四倉校に開くが、縣から高濱地方課長、小山屬等臨席する。

▲俵米共販

平農業倉庫の定期俵米共同販賣は一日午後五時から五等建値を以て入札開票されたが、出荷は各自の手持薄が前回の四百九俵から俄然百九十俵に減少した。

	五等	等外
平	八〇	五七
勿來	三〇	二三

で近來稀なる買煽りから平十圓三十五錢で一丁目白土太郎氏に勿來十圓八錢で平潟蛭田捨次郎氏に落札したが、前回の最高に比し六十九錢の暴騰であり、かゝる高値は近來になく夏中雨にあひ通した昭和六年さへ十圓止まりであつたと。尚この高値は前記品不足と天候不順による凶作を懸念したもので政府米の拂下實現に至るまでは昂騰を續けるものと見られてゐる。

▲大野青年總會

大野村青年團は十日午後一時から同村小學校で總集會を開く、講師に吉田縣統計課長が出席する。

▲天滿宮祭典　紺屋町天滿宮例祭は四日夕執行する。

御招宴に
青沼町長出席

平町長青沼鋒太郎氏は來る七日第四師團長に御榮轉遊ばされた東久邇宮稔彥王殿下の福島市公會堂に於ける午餐御招宴に招かれ出席する筈であるが、同日午後五時から同所に催れさる縣主催の殿下送別會にも出席する。

『金本』開業

四倉町驛前金誠金成岩吉氏は四日から幸町に藝妓屋「金本」を開業した。

四倉海岸から
平第一校臨海學校通信
【第二信】

八月二日(木)曇時々晴後小雨

樂しく故郷の夢を見て居ると何だかそわ〳〵しいので目覺ましてきくと、もう褌をかけて海へ行く仕度をしてゐる。まだ眞暗だ、先生が起きて來て「まだ二時半だからお休みなさい、今からおきてはだめだ」と言はれたのでまたねむる。午前五時「起床」の呼子に勇躍して起き出で赤褌をかけ海邊へ！　海原は霧深く遠くは見えないが東天かすかに陽輝くを見る、昨夜願ひし誠入れられたと歡ぶ。海水ひたる海邊でラヂオ體操をなす終つて築城などして小一時間遊ぶ七時朝食、とてもうまい。家でたべるのとは比べにならない。後先生から聞いたのであるが米は一等米、味噌、醬油は全部平のものなそうです。

今日の献立は

朝　味噌汁（じやがゐも、豆腐）

晝　鰯の煮〻、香物

夕　鰹刺身、味噌汁、香物

です、こんなたくさんな御馳走を九十もの人が一所に食べるのですから自然競走になります。M君は八杯、S君は六杯、家に居るときは二杯より食べたことのないH君でさへ五杯も食べました。食事中の禮儀作法については校長先生から詳しくおききしたのでとても立派です。

前に申し遲れましまが朝食前威儀を正して恭しく奉安殿に向つて禮拜し　皇室の御榮榮を祈り。終つてはるか平の方に向き家のお父さんやお母さんの皆樣にお早やうを申上げました。九時まで學習時間です、此の間に宿題をいたします。わからない所は先生にきゝして勉强して居ります。九時うすぬ日が射したので勇躍して水泳に趣く、水泳上の諸注意を細々きいて海に入る、冷めたい、だがとてもうれしい。入いつたばかりでもう褌が水面に浮んだ人もあります僕は泳げないので頭を水中にひたしてポチャ〳〵やる方から教へられました、歸へる頃までには少しうくやうになりました。

午後二時まで午睡、榮氣を養つて曇つて居るが海岸へ行く城など築きて遊ぶ。三時頃我等の平商、宮城縣工に四對三にて勝ちしをきゝ一同萬歳を叫ぶ。細雨のため三時半歸舍おやつに大福餅二つを頂く。四時から入浴、曇つては居るが一同頗る元氣、明日の晴を祈りつゝ第二夜の夢を結ぶ。

▲無料診療日割

平警察署駐在自動車無料診療班の石城郡下巡回日程左の如く決定。

△五日箕輪村△六日永戸村△七日川前村△九日貝泊村△十日荷路夫村△十一日石住村。

日刊記者
仲作視察

在平日刊新聞記者は五日小林主木監督所長、青沼平町長と共に江名町仲作漁港工事を視察する

▲常磐炭礦況

東北地方の諸鑛山はインフレ景氣の進展で昨年來頓に活況を呈し重要鑛產物は一齊に增產の傾向を示してゐるが就中炭礦の活況は著しいものがある、即ち昨年同期と本年一月より六月末までの出炭量自一萬一千四百五十トンに比較すると十七萬八千八百九十四トン約二割一分五厘方の出炭增加でありこれは軍需工業インフレに煽られた常磐炭の東京市場進展か効果を收めた事になる

仙臺鑛山監督局調査による本年上半期の出炭量を前年度に對比すると次きの通りである

（單位千噸）

	本年	前年
一月	一六二	一四二
二月	一七〇	一四二
三月	一九八	一五七
四月	一五八	一二九
五月	一七一	一三六
六月	一五二	一二七

育英中を破り
平商決勝戰に臨む

准決勝戰に勝ち殘つた平商業選手は四日午後二時から愈々仙臺市の雄育英中學と對戰したが赤坂投手の投球好調で最初から育英中學を壓倒し左の如きスコアーで之を破り明五日決勝戰で福島師範と對戰する事になつたが平商業校は野球部を組織して以來日尚ほ淺きにも拘はらず東北大會の決勝戰に臨み得た事は東北球界を呆然たらしめたものあり、明五日の決勝戰にも必勝を期してゐるといふので明五日は地方から多數の應援隊が乘込むものゝ如くである。

	平商	育英
一	0	2
二	2	0
三	1	0
四	0	2
五	0	0
六	0	0
七	0	0
八	3	0
九	1	0
	A	6
	7	6

暑中御伺申上候

石城郡銀行組合
石城郡町村長
石城郡各學校長
平藝妓屋組合
東部電力株式會社平營業所

開業御披露

此程四倉仲町幸町通りに金本ことして藝妓置屋を開業致しました。何卒御引立を御願致します。

昭和九年八月四日
四倉町字仲町幸町通り
（一心向ひ）
金誠改め　金本
電話百〇六番

接客女中さん

至急入用
十七八歳以上
二十五六歳迄

海水浴場賣店開設

◎來十五日海開き　◎夜間營業
◎夜のドライヴ　夜の御散歩に……
是非御立寄りを……
毎々御愛顧賜り厚く御禮申上ます。
今年は更に改善致し値下を致し野趣豊かに傑出した營業振。御家庭的に氣安く一日の御清遊を……
是非當店にて……御待して居ります。
四倉海水浴場
初音賣店

撞球場開業

皆様御待ちかねの撞球を開業致しました
夕涼みがてら御出ましを下さい。
昭和九年七月三日
ゲーム取
至急入用
十五六歳以上
四倉町仲町（元磐井家跡）
ビリヤードカド
場主　長谷川　久

夜診療

胃腸病
内科
胃腸病科
性病
花柳病科
性病科
泌尿器病科
皮膚科
肛門病科
專門
松村胃腸性病科醫院
（平町南町　電一〇七番）

耳鼻咽喉科專門

病室完備
自炊ノ便アリ
平町田町（電六九一）
山内醫院
醫學士　山内亨吉

流行ノ下駄ト草履ハ

ドコヨリ安イ
南町　三井ハキモノ店
「小僧サン入用」

化粧水

美容法　一回
特効十錢
本舗
平中の御愛顧に
御集會に
御宣伝に
（本舗一回五十錢）
電話二二八・三二番

腫物、おでき切らずに治る

ハレモノ薬　八方散
良
平一（電六九九）　水野藥

新時代の要求

本會は篤實老練なる看護婦を急派の御用命に應じます。
平南町
電話二〇七番　平看護の會
會長　清野キヨ子
附屬に
經濟向き　家政婦も派出致します
◎御手不足の御家庭　◎輕い御病人の附添
◎姙婦産婦の御家庭　是非御用命を願ひます。

東京株式取引所　短期　實物取引員
沼角治商店
電話　茅場66　代表　（二七一　二七三　二七五　三四五六　二二七二　二七四　三四五　八二四）　長　六六五
東京市日本橋區兜町一ノ四電略（カヌハ）カクヂ

平町の株式店
公社債・株式現物賣買
沼角治株式店
平町本町三丁目　七十七銀行隣
大谷時計店側
電話七三番
株式日報　營業案内　御報進呈
御報參上

開業
内科一般
川井内科診療所
川井安子
平町南町六五（舊宅）
電話二一四三番

吉田眼科病院

平町紺屋町（電話六八番）